

章	頁	行	現行・誤	訂正・正	
1	1	10	生命科学の促進の 潮流 である	生命科学促進の 源流 である	
	3	1	獣医療 較差 を縮小	獣医療 格差 を縮小	
		9	50%に比べ 有意に顕著であり	50%に比べ 明らかに有意であり	
		12	独特の 整体観 という理論体系	独特の 整体観 による理論体系	
	5	3	西洋薬を使用したことのない中獣医師	西洋薬を使用したことのない中獣医師	
		6	ハイレベルの医療を 目標に	ハイレベルの医療を 目指す	
		16~17	中医薬の知識に 乏しく 処方していた	中医薬の知識が 乏しいまま 処方していた	
		21	効果が 被る 薬や	効果の とぼしい 薬や	
		22~23	獣医学 継続教育 のなかにおいても	獣医学教育においても	
	7	19	なぜ、このような状況 なのである か？	なぜ、このような状況 なのか？	
		20	獣医学教育の 教育 の基本	獣医学教育の基本	
		23	小動物教育が占める割合が多く	小動物教育の 占める 割合が多く	
		28~29	その医療 工作 は複雑で	その医療 工程 は複雑で	
		31	副毒反応	副作用	
		34	現代獣医学との結合を模索し、 で	現代獣医学との結合を模索し、	
	9	2	以下に その 簡単に説明する	以下 それらについて 簡単に説明する	
		12	検査を実施に それの 基づいて	検査を実施し それ に基づいて	
	13	10	川きゅう	川芎	
	15	22	動物体の手術に 治する 適応性	動物体の手術に 対する 適応性	
	2	17	5	春夏秋冬の ？節 や	春夏秋冬の 季節 や
		19	14	・ ・血は 気の母 」があります	・ ・血は 気の母 」 がある
		21	20	取り込まれ（受納） ますので	取り込まれ（受納） るので
			22	体に 栄養を （ルビ）	体に 栄養（えいよう）を
23		9	相生関係（ルビ）	相生（ そうせい ）関係	
		16	相克関係（ルビ）	相克（ そうこく ）関係	
25		9	水穀の精微（ルビ）	水穀の精微（ すいこくのせいび ）	
		9	危機は 異なります	危機は 異なる	
27		8	気が 体や を温め	気が 体 を温め	
		20	多夢、煩躁、 譫忘 （ルビ）	多夢（ たむ ）煩躁（ はんそう ） 譫忘 （ せんもう ）	

章	頁	行	現行・誤	訂正・正
		16	悌 (ルビ)	悌 (てい、はなみず)
	33	26	精は変化して気と血をて生成する	精は変化して気と血を生成する
		29	不要な糟粕と (ルビ)	不要な糟粕 (そうはく) と
	37	16	腎は精を蔵し、	腎と膀胱は水に属する。腎は精を蔵し (挿入)
		21~22	性機能が発達しさらにすると、妊娠	性機能が発達し、妊娠 (削除)
		29	られます	られる
	41	18	病位をみます	病位をみる
	45	8	風邪の初期などが (ルビ)	風邪 (かぜ) の初期などが
3	49	3	患者の情報からその人の	患者の情報からその 動物の
		13	4つの 診察方 から得られた	4つの 診察方法 から得られた
		16	舌診 (ルビ)	舌診 (ぜっしん)
	51	4	体力のない 人 に多い	体力のない 動物 に多い
	53	13	陰虚や欠熱	陰虚や 血熱
	55	8	アポクリン	アポクリン 腺
		15	外耳炎などの耳道のなど	外耳炎などの 耳の炎症
	57	4	「においをききわける」表現する	「においをききわける」と表現する
	59	5	中医学には非常に重要視される	中医学 では 非常に重要視される
	61	17	簡単に感じ取れますが、	簡単に感じ取れるが、
	63	11	波打つ脈のことです	波打つ脈のことである
	65	4	数脈 (ルビ)	数脈 (さくみやく)
4	67	2	大腸をまとい、上行して胃に帰属する	大腸をまとい、上行して 肺 に帰属する
	67		P67~P101 著者名 菅野晶子	菅野 明子
	71	6	顔面五感	顔面 五官
6	107	6	被毛が消耗し潤いなくなるため	皮毛が消耗し潤わなくなるため
	112	イラスト	(内関) ないかく	(内関) ないかん
	114	イラスト	崑崙 (ルビ)	崑崙 (こんろん)
7.2	124	1	中医学的痺証と痿証中医学的の原因	痺証と痿証の中医学的原因
		3	経路	経絡
	129	15	、、	、、百会 (GV20)

章	頁	行	現行・誤	訂正・正
	133	19	胆経	督脈
			刺激する	刺激する のも良い
7.3	143	4	「あらゆる ト レスは	「あらゆる ス トレスは
		17	移行していくのだと 説 下記のいた。	移行していくのだと 説明 した。
	152			図12と入れること
	153	14	過度のグルーミング首の 辺り を	過度のグルーミングや、首の 辺り を
	155	3	咽喉に痞えが ある 。ように吐き出 そ うと	咽喉に痞えが ある ように感じて吐き出 そ うと
	161		P 161~184 執筆者の変更 小林初穂	
8	175	7	裏証	黒文字にする
		表1	表証	黒文字にする
	179	20~21	中焦に停滞 す ること湿熱が発生	中焦に停滞 す ると湿熱が発生
	180	下の表	梁門 陽陵泉 (右)	黒文字にする
9	187	11	主に高齡 に 大型犬によくみられる	主に高齡 な 大型犬によくみられる
		25	精神異常がある場合 配 穴灸頭鍼を用いる	精神異常がある場合 配 穴、灸頭鍼を用いる
	189	6	免疫介在性膵炎などが 減 となる	免疫介在性膵炎などが 原因 となる
	193	7	以下の 3 に大別される	以下の 3つ に大別される
10	197	24	痛みの情報を調節 いる	痛みの情報を調節 している
	199	18~19	虚血性疼痛の原因 倒 される発痛物質	虚血性疼痛の原因 と される発痛物質
		21~22	施鍼刺激を与えられた 結果 体制自律反射	施鍼刺激を与えられた 結果、 体制自律反射
11	204	鍼	臓腑や気・血の変調を整 へ	臓腑や気・血の変調を整 え
		接触鍼	経路をなでたり	皮膚 や経穴・経路をなでたり
	217	16	刺鍼前に刺鍼 柄 部位を押手	刺鍼前に刺鍼 部位 を押手
12	227	25	電氣的 しげ に対する耐性	電氣的 刺激 に対する耐性
13	229	3	患部、経穴に灸をす え 施 す	患部、経穴に灸をす え る
		3~4	刺入した鍼の 先頭 に専用 のもぐ さを 刺 す熱を加える方法もある	刺入した鍼の 鍼柄 に専用 のもぐ さを 刺 し 込み 点火して熱を加える方法もある
		7	ことにより鍼灸治療が完成し、より よい	ことにより、 さらなる 治療結果へつなげる
		9	もぐさを 束 ねた棒灸を用いる温灸療法	もぐさを 圧縮 して棒状にした 艾条 灸を用いる温灸療法
		13	アルファ ー ション	アルファ ーツ ヨン

章	頁	行	現行・誤	訂正・正
		16	薬効はまだすべてが解明されていない	薬効はまだすべてが解明されているわけではない
		17	手間ひまかけてつくられる	手間をかけて丁寧につくられる
		20	生薬名艾葉（ルビ）	生薬名艾葉「しょうやくめいがいよう」
		23	塗って善し、食して善しの万能薬草	塗ってよし、食してよしの万能薬草
231		3	紙で棒状にまいた棒灸を	紙で棒状にまいた艾条灸を
		6	安全性も上がる	安全性も高い
		18	台座の上に有り	台座の上にあり